

## 飼料用とうもろこし品種「ナスホマレ」

国内育成品種「ナスホマレ」は、本県では晩生種に属し、標準品種の「P3352」に比べ、乾物収量、TDN収量とも優る極多収品種である。

表1 発芽からの日数・気温・生育

項目	ナスホマレ	P3352
出芽期	10日	10日
雄穂抽出期	74日	77日
絹糸抽出期	77日	80日
黄熟期	131日	132日
有効積算温度	1307	1307
単純積算温度	2620	2631
稈長	277cm	281cm
着雌穂高	133cm	145cm

適応地帯は、県中・県南部の標高500m以下の地域である。

表2 収量(kg/10a)

項目	ナスホマレ	P3352
生草収量	7,436	7,064
乾物雌穂収量	1,281	1,209
乾物茎葉収量	1,102	992
乾物総収量	2,383	2,201
TDN収量	1,730	1,619

適正栽植密度は、10a 当たり 6,500~6,000 本である。



写真1 ナスホマレ

表3 病害抵抗性(発生率:%)

項目	すすもん病	ごま葉枯病	黒穂病	根腐病	萎縮病
ナスホマレ	0.3	0.5	10.0	0.1	0.7
P3352	0.4	0.8	3.2	0.0	0.7

「ナスホマレ」は黒穂病がやや多いが、実用上問題はない。